

# 2024年3月期 決算説明会

真のグローバルサプライヤーとして 社会から必要とされる企業を目指して

2024年5月17日 株式会社JSP



## Index

- section **01** 2024年3月期決算概要(2023年度実績)
- Section **02** 2025年3月期見通し(2024年度見通し)
- **Section 03** 2024年3月期決算補足(2023年度補足)

## Index

- section **01** 2024年3月期決算概要(2023年度実績)
- section **02** 2025年3月期見通し(2024年度見通し)
- section **03** 2024年3月期決算補足(2023年度補足)

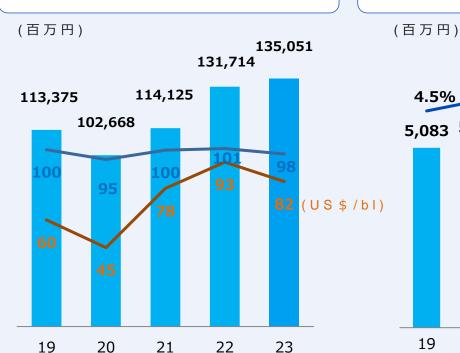
## 業績ハイライト

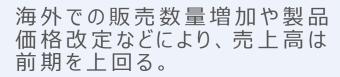


#### 売上高・販売数量

## 営業利益·営業利益率

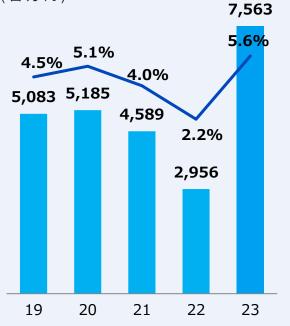
#### 自己資本利益率(ROE)





青字は2019年度を100とした場合の販売数量

赤字はドバイ原油価格



販売単価の上昇やコスト削減 の実施により、営業利益は前 期比155.9%の増加。



利益水準の大幅な回復により、 ROEは株主資本コストを上回 る水準に。

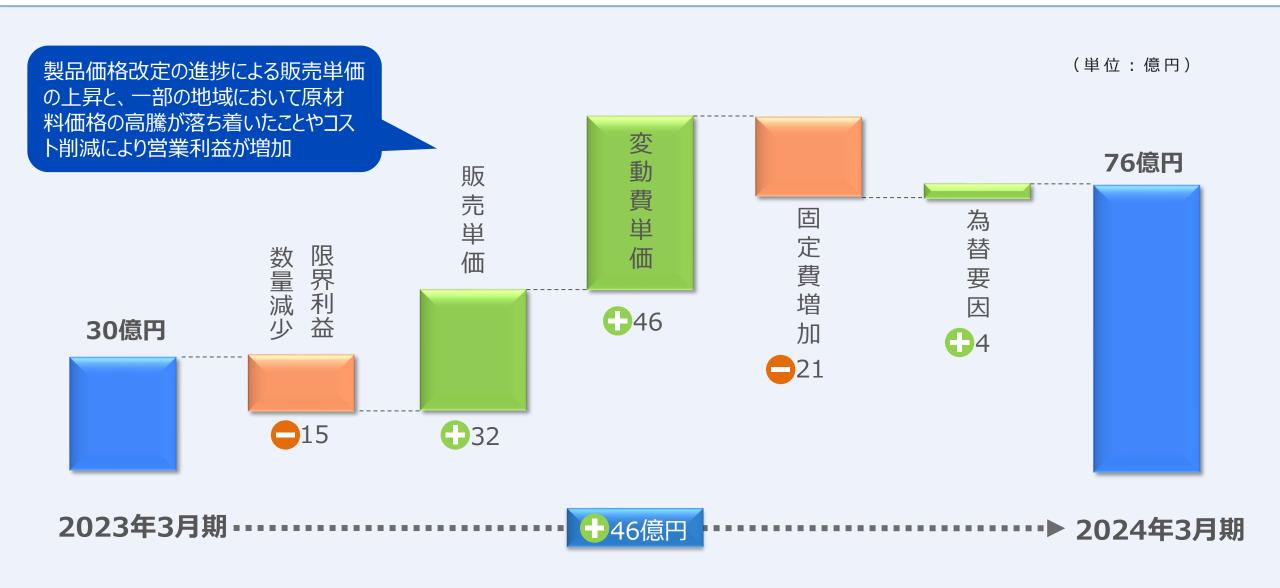
## 決算概況



(単位:百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想(1/31)	2024年3月期 実績	前年	同期比	公表	比	
売上高	131,714	136,000	135,051	<b>+</b>	2.5%		0.7%	
営業利益	2,956	7,500	7,563	•	155.9%	<b>•</b>	0.9%	
経常利益	3,363	8,000	8,127	0	141.7%	<b>+</b>	1.6%	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,531	6,100	6,391	0	152.5%	•	4.8%	
1株当たりの配当金	50円(年間)	50円(年間)	65円(年間)※	•	15円※	<b>•</b>	15円※	※予想
	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	●世界経済:ウクライナ情勢の長期化や中東情勢緊迫化、物価上昇とイン制のための金融引締め、中国経済の成長鈍化などにより景気の減速感が			! 感が強まる。		
ドバイ原油 (USD/BL)	93	82	●日本経済:新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類への移行の緩和などにより個人消費などが持ち直し、緩やかな回復基調となりました 上昇や海外需要の生産・輸出への影響、金融資本市場の変動などから					したが、物価
円/USD	132.1	141.2	透明な状況。					
円/EUR	138.5	153.2	<ul><li>●売上高:海外での販売数量増加や製品価格改定などにより、前年</li><li>●営業利益:売上高の増加やコスト削減の実施により、前年比155</li></ul>					

## 営業利益の増減要因





# 貸借対照表



(単位:百万円)		2023年3月末	2024年3月末	増減額
資産の部	流動資産	73,822	78,155	+4,333
貝性の叩	固定資産	70,706	73,449	+2,743
	資産合計	144,528	151,605	+7,077
	流動負債	36,443	35,765	△678
負債の部	固定負債	11,961	15,770	+3,809
	負債合計	48,404	51,536	+3,131
	株主資本	86,766	85,688	△1,078
純資産の部	その他包括利益累計額	4,944	9,593	+4,648
市場に	非支配株主持分	4,412	4,788	+376
	純資産合計	96,123	100,069	+3,945
負	<b>債純資産合計</b>	144,528	151,605	+7,077

# 純資産の部



(単位:百万円)		2023年3月末	2024年3月末	増減額
	資本金	10,128	10,128	-
	資本剰余金	13,405	13,405	-
株主資本	利益剰余金	64,621	69,523	+4,901
	自己株式	△1,388	△7,369	△5,980
	合計	86,766	85,688	△1,078
	その他有価証券評価差額金	408	608	+199
その他の包括	為替換算調整勘定	3,864	8,029	+4,165
利益累計額	退職給付に係る調整累計額	672	954	+282
	合計	4,944	9,593	+4,648
非	支配株主持分	4,412	4,788	+376
ý.	純資産合計	96,123	100,069	+3,945

# キャッシュフロー・設備投資額・減価償却費・研究開発費





#### 【設備投資額·減価償却費·研究開発費】

	2023年3月期	2024年3月期
設備投資額	8,200	6,749
減価償却費	7,137	7,632
研究開発費	2,277	2,361

※ 設備投資額はキャッシュベースです。

## 押出事業



(単位:百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前年比
売上高	42,443	41,956	<b>1.1%</b>
営業利益	1,767	2,078	<b>17.6%</b>

- ●製品価格改定は進めたものの販売が 減少したことから売上高は減少
- ユーティリティコスト高騰の影響はありましたが、付加価値の高い製品の販売増加やコスト削減により増益

#### 食品包材·容器



Classical
Concert

「ミラボード®」

「スチレンペーパー」

● 食品トレー向け分野に加え、広告宣伝用ディスプレイ材「ミラボード®」の販売も減少したことから売上高は減少

#### <u>産業用包装材</u>

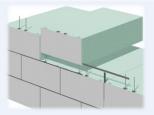


「ミラマット®」 「キャプロン®」 「Pボード」

●付加価値の高い製品の販売は 回復傾向となったものの減少し、 汎用製品も減少したことから売 上高は減少

#### 住宅用断熱材·土木資材





「ミラフォーム®」

「J-ウォールブロック」

● 建築・住宅分野向けの販売は前期並みとなり、土木分野向けは 減少しましたが、製品価格改定や 付加価値の高い製品の販売が増加したことから売上は増加

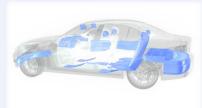
## ビーズ事業

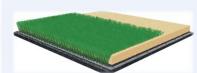


(単位:百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前年比
売上高	82,761	87,294	<b>+</b> 5.5%
営業利益	2,038	6,542	<b>221.0%</b>

- 高機能材製品の販売増加や製品価格改定により売上高は増加
- ユーティリティコストや人件費高騰の 影響はありましたが、売上の増加やコ スト削減により増益

#### 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材





「ARPRO®」 「エレンポール®NEO」 「FOAMCORE]

- ●国内では、自動車分野は増加しましたが、ハイブリッド成形品「FOAMCORE」などは減少し、販売数量は前期並みで推移
- ●欧米では、通い函や競技用グラウンド基礎緩衝材やHVAC向けなど非自動車分野が好調に推移

#### 発泡性ポリスチレン





「スチロダイア®」 「ヒートポール®GR」 「クリアポール®」

● 水産・農業分野などでの需要の影響により販売が 減少したことから売上高は減少

## その他



(単位:百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前年比
売上高	6,508	5,800	10.9%
営業利益	166	82	50.6%

## 国内一般包材



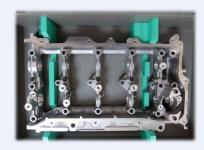
自動車部品トレー



情報家電緩衝材

●自動車部品輸送関連等の需要の影響により売上 は減少

### 中国一般包材







光学部品緩衝材

● 各種部品関連の需要が低調に推移したことにより 売上は減少

## Index

- section **01** 2024年3月期決算概要(2023年度実績)
- Section **02** 2025年3月期見通し(2024年度見通し)
- section **03** 2024年3月期決算補足(2023年度補足)

## 2025年3月期予想

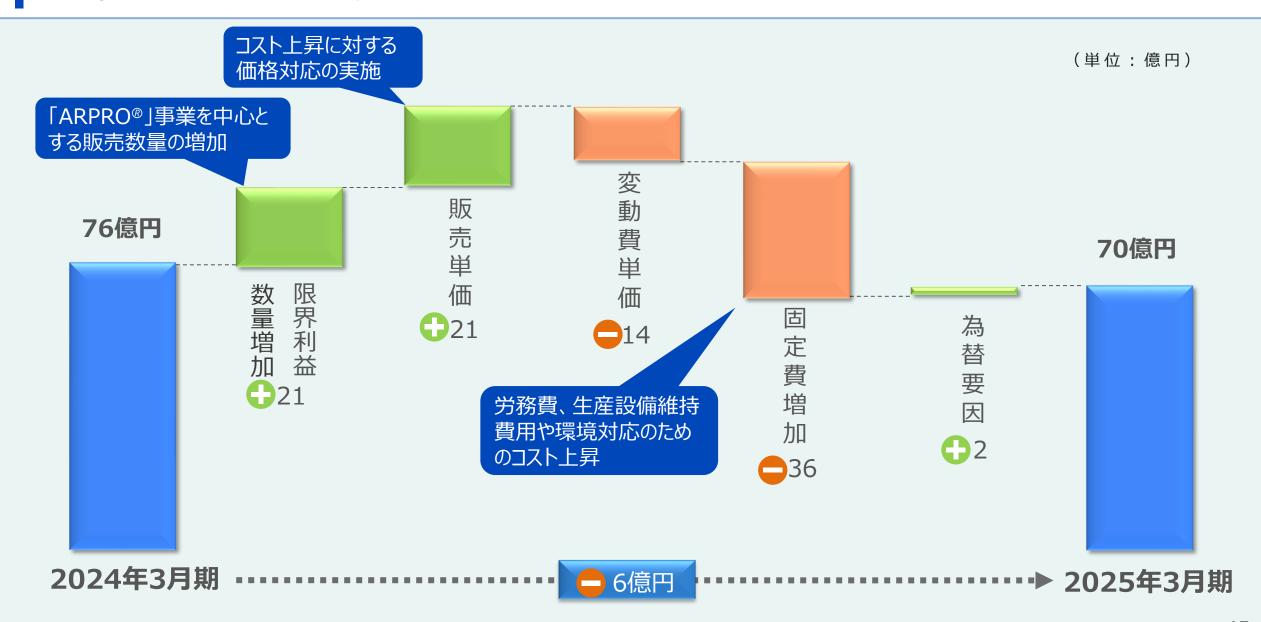


(単位:百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前年比
売上高	135,051	146,000	8.1%
営業利益	7,563	7,000	7.5%
経常利益	8,127	7,400	9.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,391	5,300	<b>17.1%</b>
自己資本利益率 (ROE)	6.8%	5.4%	━ 1.4ポイント
1株当たりの配当金 (予想)	65円(年間)	80円(年間)	+ 15円
ドバイ原油 (USD/BL)	82	90	
為替レート (円/USD)	141.2	150	

- 2025年3月期の世界経済の見通し 経済成長率は、前期と比べほぼ横ばいで推 移すると予測。
- 変動費だけでなく、固定費(労務費、生産設備維持費用や環境対応のためのコストなど)の上昇に対し、コスト削減や販売価格の改定に努め、収益力の向上を目指す。同時に、サステナビリティ経営における課題に対する取り組みを推進。
- 「ARPRO®」事業を始めとする4つの成長エンジンを軸とした販売数量の増加や、販売価格改定および環境対応型製品等の高付加価値製品販売比率増加による販売単価上昇を計画も、主に固定費の増加により利益水準は前期を下回る予想。
- 株主還元を強化するため、2025 年 3 月期 より株主還元方針を変更。

## 営業利益の増減要因





## 甲出事業



(単位:百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前年比
売上高	47,756	52,000	8.9%
営業利益	2,160	1,900	<b>12.0%</b>

●押出事業の販売は、堅調に推移する 見诵し

- ●売上高は、販売の増加と原材料価格 の上昇による製品価格の改定により 増加する見込み
- ●利益面では、原材料価格の上昇や労 務費などの固定費の増加により前期を 下回る見込み

#### 食品包材·容器





「ミラボード®」

●食品包材・容器の販売は、堅 調に推移する見通し。

産業用包装材

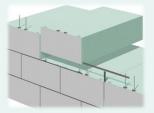


「ミラマット®」 「キャプロン®」 「Pボード」

- ●産業用包装材の販売は、堅調 に推移する見通し。
- ※ 2025年3月期より、セグメント情報の「その他」は、人材と資産活用の観点から親和性の高い 「押出事業」と統合しております。なお、2024年3月期の実績は、変更後のセグメント区分によ り組替えた概算値となります。

#### 住宅用断熱材·土木資材





「ミラフォーム®」

「J-ウォールブロック」

建築・住宅分野向けや保冷車 用断熱材の需要は堅調に推移 する見通しであり、土木資材製 品の需要は増加すると予測

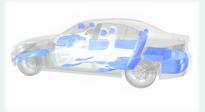
## ビーズ事業



(単位:百万円)	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	前年比
売上高	87,294	94,000	<b>+</b> 7.7%
営業利益	6,542	6,300	3.7%

- 高機能材製品の販売の増加と原材 料価格の上昇による製品価格の改定 により、売上は増加する見込み
- ●利益面では、原材料価格の上昇や労務費などの固定費の増加により前期を下回る見込み

#### 自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材





「ARPRO®」 「エレンポール®NEO」 「FOAMCORE]

- 自動車部品向けは堅調に推移する見通しで、非 自動車部品向けの販売は好調に推移すると予測
- ●「ARPRO®」の生産能力増強として、メキシコのラモス・アリスペ工場の新設、インドのプネ工場の新設、チェコのヘブ工場の生産能力増強を計画

#### 発泡性ポリスチレン





「スチロダイア®」 「ヒートポール®GR」 「クリアポール®」

● 発泡性ビーズ製品は、水産・農業分野などでの需要の影響などにより販売は減少する見込み

## Index

- section **01** 2024年3月期決算概要(2023年度実績)
- section **02** 2025年3月期見通し(2024年度見通し)
- section **03** 2024年3月期決算補足(2023年度補足)

# 経営成績



221円83銭

5.6%

(単	位:百万円)	2023年3月期	2024年3月期		2023年3月期	2024年3月期
	売上高	131,714	135,051	1株当たり 当期純利益	84円91銭	221円83釒
, t	営業利益	2,956	7,563	売上高 営業利益率	2.2%	5.6%
<u> </u>	経常利益	3,363	8,127	【主要な日本円への換	算レート(1~12月)】	
(5	記会社株主 に帰属する 的期純利益	2,531	6,391		2023年3月期	2024年3月期
,	包括利益	7,565	11,602	円/USD	132.1	141.
				円/EUR	138.5	153.

円/RMB

141.2

153.2

19.9

19.5

# 営業外損益·特別損益



(単位:百万円)					
営業外損益	2023年3月期	2024年3月期	特別損益	2023年3月期	2024年3月期
受取利息	312	493	固定資産売却益	20	30
受取配当金	31	37	投資有価証券売却益	95	-
受取賃借料	79	73	受取保険金	151	743
為替差益	73	-	子会社における 送金詐欺回収額	215	111
その他	352	322	特別利益合計	482	885
営業外収益合計	847	925	固定資産売却損	1	11
支払利息	139	165	固定資産除却損	207	120
為替差損	-	62	減損損失	115	83
デリバティブ評価損	124	-	特別損失合計	324	216
その他	177	134			
営業外費用合計	440	361			

# 財政状態



(単位:百万円)	2023年3月末	2024年3月末
総資産	144,528	151,605
純資産	96,123	100,069
自己資本比率	63.5%	62.8%
1株当たり 純資産	3,635円60銭	3,076円73銭

	2023年3月末	2024年3月末
自己資本	91,711	95,281
自己資本利益率 (ROE)	2.8%	6.8%

#### 【主要な日本円への換算レート】

	2022年12月末	2023年12月末
円/USD	132.7	141.8
円/EUR	141.5	157.0
円/RMB	19.0	20.0

# Deliver with MOM!

私たちは、真のグローバルサプライヤーとして、 顧客と消費者に感動を、 株主と地域社会に満足をお届けし、 社員一人ひとりがワクワク感を持って仕事をすることで 社会から必要とされる企業を目指してまいります。

JSP